

## 議 事 要 旨

名 称	第1回松山市車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会
開催日時	令和6年11月25日(月) 14:30~16:30
開催場所	松山市役所本館11階 大会議室(オンライン併用)
出席者	出席者名簿のとおり(3ページに掲載)
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 委員の紹介</li> <li>4. 議事 (1)検討経緯、上位計画などでの本施設の位置付け (2)施設の将来像 (3)団体などからの意見 (4)施設の導入機能と規模 (5)今後の進め方</li> <li>5. 閉会</li> </ol>
議事内容	<p>(1)検討経緯、上位計画などでの本施設の位置付け</p> <p>【事務局】(資料1に基づき、これまでの経緯を説明)。</p> <p style="padding-left: 40px;">5,000 席規模のアリーナと小ホールを備えた施設整備を検討すると市長は発表している。今後のスケジュールは、検討会を踏まえて基本計画を策定し、事業スキーム・管理運営方法、また民間活力の導入の可能性についても検討を行う。</p> <p>【事務局】(資料2に基づき、車両基地跡地の交流拠点としての機能、上位計画、基本構想に謳われている機能との関係性について説明)。</p> <p>※質疑等なし</p> <p>(2)施設の将来像</p> <p>【事務局】(資料3と4に基づき、車両基地跡地の周辺関連施設、松山駅周辺の整備状況について説明)。</p> <p>【事務局】松山駅周辺のエリアは今後、開発が進むことが想定されているが、それぞれが別々に開発を進めるのではなく、公共施設も商業施設も密接に連携しながら、賑わいに満ちたエリアにするべきと考えている。本件の JR 車両基地跡地については、経済団体が求める 5,000 席規模の多目的アリーナと、文化団体が求める小規模ホール、この両方の整備を目指す方向性を既に示しており、本日の 検討会で、機能や規模などの施設の計画や運営について検討したい。</p> <p>※質疑等なし</p>

(3)団体などからの意見

各オブザーバーからご意見を伺った。

※質疑等なし

(4)施設の導入機能と規模

【事務局】(資料5に基づき、市が想定する施設の機能と規模感を説明。)

⇒各委員からの主なご意見・ご助言

- ・市民会館閉館に伴う市民活動の場が無くならないよう検討してほしい。
- ・スポーツイベントで集客した場合、周辺の宿泊施設の検討も必要である。
- ・現時点の想定をたたき台にし、知恵を出しながら、松山にしかない施設の特徴を出すのが良い。
- ・候補地だけではなく、他のエリアとの連携の検討が必要である。さらに、駅周辺だけでなく、市内全域を視野に入れたまちづくりの観点が必要である。
- ・観客に使いやすく設計すべきであり、それには駐車場の配置や周辺の道路網の検討が必要である。さらに、観客の動線や物販スペースの確保も重要である。
- ・Bリーグの会場として5,000人規模のアリーナはいいが、興行の観点からの検討も必要である。
- ・人口減少が進む中での地域活性化には、交流人口や市民のコミュニティの場が必要であり、そのためには文化とスポーツが垣根を越えて力を合わせるべきである。
- ・建築後の利用や運営を考慮することが重要である。
- ・JRの駅前という立地条件を最大限に活かすための必要な機能について、引き続き話し合っていく必要がある。

(5)今後の進め方

【事務局】今後の進め方について説明。4月以降も要所で検討会を開催する想定である。

※質疑等なし

# 松山市車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会 出席者名簿

(敬称略)

所属・役職			氏名
1	有識者	愛媛大学社会共創学部 学部長	松村 暢彦
2		東京都立大学 客員教授	山本 康友
3		東京大学大学院 工学系研究科 特任研究員	菊池 雅彦
4		株式会社ブルーモーメント 代表	田山 順一
5		AC Bright Lab 合同会社 代表	千葉 昭浩
6	関係団体	松山市文化協会 会長	土居 英雄
7		公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団 理事長	本田 元広
8		公益財団法人 愛媛県スポーツ協会 常務理事	豊島 吉博
9		松山商工会議所 会頭	高橋 祐二
10		四国旅客鉄道株式会社 愛媛企画部 部長	窪 仁志

オブザーバー	愛媛経済同友会 副代表幹事 ※代理出席	小泉 啓典
	NPO 法人シアターネットワークえひめ 理事	郡司島 宏美
	公益財団法人 松山観光コンベンション協会 専務理事	家串 正治
	社会福祉法人 松山市社会福祉事業団 常務理事	矢野 博朗